



神奈川県立厚木高等学校同窓会

新潟戸陵会だより

(第3号 平成20年12月1日発行)

今年も師走に入り、何かとお忙しい毎日かと思えます。同窓皆様にはお変わりありませんか。

夏ころにはお届けする予定でございました「新潟戸陵会だより」第3号が、ようやくできましたのでお届けします。今回はすでに同窓会のホームページなどでご承知かと思えますが、7月5日(日)に平成20年度の総会が開催され、新役員が選出されましたので、そのニュースを中心にまとめてみました。

新役員選出

今年と同窓会役員(任期3年)の改選期でした。各支部から推薦された選考委員で構成される役員選考委員会が次期役員候補者の選出おこない、総会に提案して承認されました。新会長には、近藤俊二氏(6回卒、伊勢原支部)が選出されました。その他の役員氏名は、同窓会のホームページに載っていますのでご覧ください。新役員の任期は3年間です。

なお、ホームページには各支部会の支部長と事務局長の名簿も載っています。新潟支部では、これまで事務局長を決めていませんでしたが、他の支部会と形を合わせる必要が急に生じ、急遽齋藤勝司さん(8回卒、田上町)にお願いしました。事後連絡になりましたが、どうぞご了承ください。

また、本部から新潟支部の広報委員を選んで欲しい旨の依頼がありました。新潟市近辺の会員の意見を伺って、佐々木健さん(15回卒、新潟市)にお願いすることになりました。よろしくお願いたします。

「厚木連合戸陵会だより」の配布

厚木地区のいくつかの戸陵会支部が連合して、「厚木連合戸陵会だより」を出しています。今回9月発行の第3号を送っていただきましたので、新潟の皆様にお届けします。母校や同窓生の活躍ぶりなど、多彩な記事でうまっています。あるいは皆さんがご存知の方の名前もあるかと思えます。どうぞゆっくりとご覧になってください。

9回生幹事佐渡・瀬波旅行

7月11日から2泊3日の日程で、9回生（昭和32年3月卒、青木と同級）の幹事8名が神奈川からやってきました。新幹線でお昼前に新潟に着き、ジェットfoilで佐渡に渡り、佐渡金山、奉行所跡、博物館などを見学しました。夜は相川の宿で新鮮な魚と銘酒を楽しみました。翌12日は酒造元蔵、五重の塔で有名な妙宣寺、トキ飼育センターなどを見学し、夕方に村上市の瀬波温泉に着きました。日本海に沈む夕日を眺めながらの夕食に大いに盛り上がりました。翌13日のお昼すぎに新潟駅から新幹線で東京へ戻りました。

残念ながら、新潟支部のみなさんには会えませんでした。くれぐれもよろしくとのことでした。



9回生幹事旅行（佐渡金山前にて）

佐渡の本間氏と厚木（依知）との意外な関係

佐渡関係の本を見ていたら、今までまったく知らなかった佐渡と厚木のつながりにびっくりしました。新潟県に来て気がつくことは、本間姓が多いことです。きっと皆さんのまわりにも、おられることでしょう。その多くは佐渡本間氏に源があるようです。この佐渡本間氏の本貫（原籍地）は、相模国愛甲郡依知郷本間（現厚木市）なのだそうです。承久の乱（1221年）の後、鎌倉幕府により佐渡守護代として依知の本間氏が佐渡に送り込まれ、これが佐渡本間氏の祖となったとのこと。山形酒田の日本一の地主として権勢を誇った本間家も佐渡本間氏に由来しています。そういえば、厚高の同級生にも確か依知から来ていた本間君がいたことを思い出しました。

あふり

肩のこらないコーナーです。皆様のご投稿を待っています。

古いアルバムを整理していましたら、高校時代の校舎の航空写真と写真カード3枚が出てきました。私が2年生のとき（昭和30年。古いですね）がちょうど創立55周年だったと思います。その記念で生徒に配られたのではと推測します。高校全景の航空写真を見ると、周りは一面畑で今の住宅街はうそのようです。あらためて半世紀の年月を感じます。それらのうち、カード1枚を下に付けました。



完成して間もない体育館の写真を背景に、校章、校歌をあしらった素朴な感じのカードですが、当時は宝物のようにしてアルバムに貼ったのでしょう。

よいお年を

今年は個人的にもいろいろありました。きっと皆さんの同じだと思います。こうして1年、1年が終わります。いつものことですが、来年こそはと強く思います。これから本格的な冬に向かいます。どうぞおからだにはくれぐれもご注意の上、よい新年をお迎えください。

担当： 青木茂治（9回生）
連絡先： 〒950-2015 新潟市西区西小針台2-8-44
Tel/Fax： 025-266-5928